

1 月 5 日配信

あけましておめでとうございます(*^^*)

新年を迎え、お子さんたちは、お年玉をもらってニコニコしていることでしょうか。お年玉で何を買おうかとあれこれ悩んでいる子もいることでしょうか。いや、もしかしたら、もう既にお年玉は使い切ってしまったというお子さんもいるかも知れませんね。

生活経済ジャーナリストでもあり、「子どものお金教育を考える会」代表の、あんびる えつこ氏は、正月直前のクリスマスで既に欲しいものを手に入れ、お年玉をいつもなんとなく貯金しているのなら、より良い活用方法を考える必要があるとし、日常の小遣いの穴埋めにお年玉をずるずると使わないように心掛けてほしいと話しています。(毎日新聞 H28. 12. 26 付)

ふと、子どもの頃の自分のお年玉の使い方を思い出してみました。もらったお年玉は、親に渡して貯金していました。これだとずるずる使いようがないので、「お年玉＝貯金」ができていたのだと思いほっとしました。しかし、ある日「そういえば、ずっと貯金していた私のお年玉はどうなったの？」と親に聞くと「そんなのほとんど残ってないよ」とのこと。「ええっ！使っていないのに？」と驚くと「あなたに必要なものをそれで買ったんだよ」と言われ、何も言えませんでした。自分のために使ったのは確かなのですが、どこか騙されたような寂しい気持ちになったものです。

「貯蓄の意義を伝えるため、貯めたらちゃんと使うことが大切。貯めておくと、いつか金額の大きいものが買えるという経験をさせる。欲しいものがあったら親から別にもらうのでは意味がない」との、あんびる氏の言葉で、自分が親の立場になった今、我が子のお年玉について少し考えさせられました。

そしてたとえば次のように語りかけ、きちんと話し合ってみたらどうだろうと思いました。「お年玉は、子どもの幸せを願う大人からいただくもの。だから、大事に使いたいよね。『夢貯金』するのはどうかな？将来のあなたが、自分の夢のために使うお金だなんて、素敵だと思わない？」

「お年玉を 1 万円ずつ貯めていけば、中学を卒業する頃には、あなたの憧れの〇〇が一括で買えるね！」

「照れくさいのもわかるけれど、お年玉をもらったらちゃんとお礼を言わなきゃダメだよ。大切なお金をいただくのだから、感謝の気持ちを伝えないと失礼だよね」など。

ちなみに、金融広報中央委員会が、昨年 6 月に発表した小学生から高校生まで全国 5 万 149

人へのアンケートによると、日常の小遣いでやりくりになると、親兄弟からお金を借りて欲しいものを買、お年玉で穴埋めをする風潮が浮かんできたとのことでした。その感覚のまま大人になったらどうなるのかと思うと、なんだか怖くなります。

金銭教育となると難しそうですが、いつもの小遣いとは桁違いのお年玉をもらうお正月こそ、お金にどう向き合うか親子で話し合うチャンスかも知れませんね。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝えていただく。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索